



こんにちは

白子の議会

です

第109号

平成25年8月1日

編集発行
千葉県白子町議会

☎0475(33)2169



▲ 中里海岸の観光地引き網

第2回 定例会

平成25年第2回定例会が6月21日開催されました。
一般質問は、3名の議員が町政をただしました。



- 🕒 3議員が一般質問…………… 2～4ページ
- 🕒 条例の制定等の質疑応答及びこんなことが決まりました… 5～6ページ

一般質問 町政をきく

ふるさと納税について

宗島 理仁 議員

議員 「ふるさと納税」という制度が導入され、最近では東日本大震災の被災地支援に活用されたり、納税を受けた自治体品が人気を呼んだりして認知度が高まってきています。

ふるさと納税の発展につなげるために、過去に寄付された基金をどのような施策に使用されたのか町の見解を伺います。

寄付していただいた方のために

町長 現在、総額で1400万円余りの積立額となっています。

これまでの基金はまだ使っておりません。目的に沿った、なおかつ寄附していただいた方に喜んでいただけるような施策事業に取り組み考えです。

返礼品について

議員 白子町の特産品等の広告宣伝・販売促進のため、「ふるさと納税」をされたかたに贈呈する特産品や記念品の充実をすべきだと思いますが、町の見解を伺います。

深めた対応を検討する

町長 基金の創設の年から、地元の特産品のタマネギ等をお返しに贈っております。

現在もいろいろなイベントのPRをしています。もう少し深めた対応もする必要がありますとおっております。

風疹予防接種助成事業について

議員 現在、風疹の患者数は既に去年一年間の数を大幅に上回っています。

さらに例年、夏にピークを迎えるとされ、懸念されています。

風疹の流行が妊婦に与える影響は深刻であり、風疹の大流行から妊婦を守るためにも、「ワクチン接種率を上げる」ことが大変重要な意味を持ちます。そのためにも、六月一日から開始された風疹予防接種費用の助成事業の周知の徹底を町はどのようにしていくのか伺います。

対象者の周知に向けて

町長 周知については、広報、あるいはホームページ等で行っております。

また、母子手帳を持っている妊婦の配偶者、これから取得する妊婦の方にも周知を図っております。

予防接種の環境作りについて

議員 予防接種の対象となる世代は、働き盛りということで、病院へ行く

時間がなかなか取れないのが現状だと思います。

行政側がいかに働く人たちに受けやすい環境づくりをし、手助けをする必要があると思います。町の見解を伺います。

窓口給付を実現

町長 医師会との調整の中で、病院の窓口で払うときに減額をして払うことになっていきます。

その前、四月から五月に接種した方については、償還払いということ、その後、役場の窓口で返すという方法をとっております。



白子町第4次総合計画の 後期基本計画の施策は

東海林 東治 議員

議員 生活習慣から発症要因とされる脳血管疾患者が介護認定を受けた場合、長期の介護が必要になります。

郡内での脳ドック助成制度が無い町村は、白子町と長南町の2町です。又、本町は契約医療機関も少ないともいわれます。全体の3割弱の脳血管障害者を未然に防ぐ予防策を講じる事が、国保の医療費軽減に繋がります。脳ドック助成を含めた中での様な施策を考えているか伺います。

特定検診受診率の 向上が大切

町長 平成20年度より特定検診、保健指導が義務付けられております。

新たな脳ドック助成は、国保会計の負担が大きくなることから考えておりません。その前に、特定検診受診率が、郡内で低く、30%台であるこ

とから受診率向上への改善を図っていきます。



白子町基幹産業である 農業振興の施策は

議員 政府はTPPの参加を正式に表明し、農業を取り巻く環境の激化が危ぶまれる中、農業を産業として育成し、経営力の強化を図り、地域経済の活性化に繋げることが重要です。

農業を産業と捉え、いつ大規模自由貿易に突入しても磐石な地域経済の施策が必要と思いますが見解を伺います。

基幹産業である農業は 施策の大綱

町長 施設園芸は、実績も伸びております。

悩みは、後継者の問題で担い手が少ない事であります。市場経済の中で安売り競争に犠牲を被っているのが農産物で、1次産業は、相応に保護する必要があると思います。現実を見て根本から農政改革し、引き続き付加価値を上げる対策を考えていきます。



遊休農地

耕作放棄地・遊休 地対策

議員 町面積の43・4%を占めている農地の中に

17万坪以上が耕作放棄地であります。

耕作放棄地再生利用を推進し、農地の集積を図り、担い手育成に繋げる必要があると思います。

又、法人を含む認定農業者を、人・農地プランの中核経営体として育成し、農林魚業成長産業化ファンドの活用や、医療食品への連携などの、多様な業種を取り入れることと高付加価値を生み出すことができます。

これを踏まえて6次産業化を推進し、後継者の育成を図り地域の活性化へ繋げていく対策が早急に必要と思いますが見解を伺います。

放棄地を 機械力で解消を

町長 遊休農地は、全農地の3・9%有ります。

町として積極的に解消に努めた結果、放棄地の畑で収穫した芋から作った焼酎「南白亀」があります。今後、国の支援を受け機械力で解消に努めて行きたいと思います。



たまねぎドレッシング

焼酎「南白亀」

まちづくりの施策 の参加運営方法は

議員 まちづくり協議会を設置し、幅広く年代層を広げ、転入居住者も含め町民アイデンティティを生かしたまちづくりが必要と思いますが見解を伺います。

発想の転換を図る

町長 色々な団体、年齢を超えて町の抱える行政課題の意見交換をし、改善するものは改善してつもりです。意見交換会等を設ける考えはないが発想の転換は必要です。

TPP参加への見解は

市川 隆子 議員

議員 TPPは、例外なき関税ゼロがルールとされています。

安倍首相は交渉力でTPPの貿易ルール作りをリードし、国益を守ると言ってきましたが、カナダ、メキシコの参加条件を突き付けられ、今までの条文を受け入れ、再交渉はできないとされています。

農業や国民皆保険制度など、町民にも深刻な影響が予想されるTPP参加についての町長の見解を伺います。

反対のスタンスを取り続けている

町長 一口で言えば反対です。TPPは、グローバル企業を反映させて農業をつぶし、国民皆保険制度が今までどおりにかなくなるという不安があります。

地元の中小企業がどうなるか予想もつきませんし、農業、農村の打撃が

大きすぎるということは火を見るより明らかだと思っています。

全国、県の町村会も反対決議をして活動しているところですよ。



稲の生育も順調です。

在宅での24時間サービスは可能か

議員 改正介護保険法のキーワードは、地域包括ケアシステムの確立だと言われています。これを

支えるサービスとして新たに、在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて訪問介護と看護が連携しながら短時間の定期巡回型訪問と随時の対応を行うサービスがあります。

平均して1日4回から

7回程度の訪問で、重度の単身者に施設並みのサービスができるのかという問題がある中で、24時間介護は可能なのか伺います。

第6期介護保険事業計画での整備を検討

町長 このサービスは、地域密着型であり、実施する場合は市町村の介護保険事業計画に整備計画を定めることになっていきます。

24時間体制のサービスにより、入所待機者の解消にもつながると思うので、管内市町村の取り組みも参考にしながら、第6期の介護保険事業計画への整備計画を検討していきたいと考えています。

認知症対策への支援は

支援は

議員 厚労省は認知症対策として「できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会を目指す」としていますが、「ひまわり長寿プラン」

には認知症対策はあまりないようです。本人や家族に対する支援体制はどのようにすすめるのか考えを伺います。



本人・家族への支援を実施

町長 今後は認知症高齢者の増加が予想されます。兆候や適切な対応を理解することは、早期発見、早期治療や予防にもつながります。認知症の方と家族を見守り支援するために、認知症サポートを養成しています。

成年後見人制度への援助や家族には、交流会を開催し、研修会、意見交換、レクリエーションなどを行い、精神的な負担軽減に努めています。

難病患者 新たに福祉サービスが

(対象者数は)

議員 難病患者も診断書によって障害者として福祉サービス申請ができるようになりました。国が指定する130疾患ですが、町での新たな対象者数と申請の状況について伺います。

把握困難な状況

町長 新たな対象者の把握は困難であり、申請者も現時点ではありません。

周知は広報やホームページ、公共施設などにチラシを置きます。気軽に相談をしてほしいと思います。



条例の制定等に対する質疑・応答 及び各議案等の内容について

一般職職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定
議案第2号

【市川隆子議員】

議員 給与削減を実施しないと、地方交付税削減と言われているが実態はどうか。

また、実施期間は今年度限りでいいのか。

町のラスパイレース指数は、県内でも低い方だと思えますが、どのくらいか。3点伺います。

総務課長 1点目の交付

税の減額ですが、既に減額になっていきます。その減額の給与削減影響額を国が試算して、その分に対応して今回の給与削減をしています。

2点目、削減期間は今年度9ヶ月です。

3点目、ラスパイレース指数ですが、県内では下位10以内に入っています。従来は、95%ないし96%ですが、国が削減している現状では100%を超えている状況です。

白子町税条例の一部を改正する条例の専決処分事項の承認
承認第1号

【市川隆子議員】

議員 延滞金は、現在14.6%です。これは金利だけではないと思います。が、どういう構成で数字なのか伺います。

税務課長 延滞金14.6%

は、金利だけの数字ではなく、その他の意味も含めた数字が国から示されています。

今回の改正は、延滞金の利率を下げることによる、早期納税をしやすくし、納税意欲を失わないようにすることを目的としています。



その他、可決された主な議案等の一部です。

【専決処分事項の承認】

白子町国民健康保険税条例の一部改正

【内容】

地方税法の改正により①特定世帯の世帯割半額の措置が現行の半分を4分の1にし、3年間延長する②5割・2割軽減判定について特定同一世帯所属者も含めての算定措置について、期限を区切らず恒久化する。

H25年4月1日施行

【白子町公益的法人等の職員の派遣等に関する条例の制定】

【内容】

公益的法人等への一般職の派遣等に関する必要事項を定めた。

H25年7月1日施行

【白子町一般職の職員の給与等の臨時特例に関する条例の制定】

【内容】

東日本大震災に対処する必要性に鑑み、国家公務員の給与減額に関連し、本町の一般職の給与支払額を減額する

ために条例等の特例を定めました。給料月額額の12%の減額とし、期間はH25年7月1日からH26年3月31日まで

H25年7月1日施行

【白子町一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正】

【内容】

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、他の地方公共団体等から本町へ派遣される職員などに対応し緊急事態の措置に対応するための条例の整備。

公布の日から施行

【防災行政無線屋外拡声子局デジタル化更新工事請負契約の締結について】

【内容】

防災行政無線屋外拡声子局デジタル化更新20基

契約金額1億3百95万円



こんなことが、
決まり又は、
伝達されました
定例会(第2回)

請願書

- ◇「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書(採択)
- ◇「国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書(採択)
- ◇ T P P 交渉参加に関する意見書の提出を求める請願(採択)

発議案

- ◇義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書(可決)
- ◇国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書(可決)
- ◇ T P P 交渉参加に関する意見書(可決)

同意

- ◇白子町監査委員の選任につき同意を求めることについて次の者が提案され全員賛成で同意されました。
氏名 吉井 清(新任)
住所 白子町北高根80番地
生年月日 昭和19年6月20日

諮問

- ◇人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて、次の2名の者が候補者として推薦され全員賛成で適任者と認められました。
氏名 三浦 由美子(新任)
住所 白子町関1357番地
生年月日 昭和34年4月21日
- 氏名 齊藤 千行(再任)
住所 白子町牛込553番地
生年月日 昭和20年8月26日

特別自治 功労者表彰

平成25年第二回定例会において、特別自治功労者議員に対する表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、千葉県町村議会議長会より地方自治に特に功労があった議員として表彰されるものです。

本町議会から次の2名の元・現議員が表彰されました。心からお祝い申し上げます

特別自治功労者 (議員在職十八年以上)

- 宗島 慶明(元)議員
- 市川 隆子 議員

町議会を傍聴しましょう

次の定例会は9月の予定です

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

梅雨も明け、暑さも益々厳しくなります。町民の皆さんも体調には十分に注意して下さい。

自民党の安倍総裁は、経済政策「アベノミクス」に強い自信を示していますが、経済の再生も大事ですが、民主党政権下での東日本大震災への復旧・復興作業の遅れにより、多くの被災者の方々は困り果てています。早急に生活再建目標を明示し住まい・生業の再生を加速させて頂きたい。又、外交・防衛問題では、中国の度重なる日本国への領海・領空の侵犯と核兵器の存在と併せてミサイル基地の標準が日本に向けて配備されていると言われております。いずれも憂慮すべき現実です。政府は、国民の生命・領土を護るため自衛隊の人員・装備の強化を計って頂きたい。

今、日本人に失われている「愛国心」という言葉をもう一度考えるべきである。

酒井良信